

1・本園の教育目標

- ・基本的な生活習慣を身につけ、心も身体も丈夫な身体を育てる
- ・周りの人や自然とのふれあいを通して、感動する喜びを育てる
- ・遊びを通して仲間との関係を育み、秩序と協調の精神を育てる
- ・経験したこと、考えたこと等を言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育む
- ・家庭と地域との協力のもとに、思いやりのある子どもに育てる

2・本年度の重点的に取り組む目標…表内赤文字

3・評価項目の達成及び取り組み状況

取組と成果に関する評価結果… A：とても良い B：まあまあ良い C：普通 D：良くない（要検討）

重点 目標	評価項目	評価指標及び評価結果						コメント 評価結果に関する説明・意見書		
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括評価	
① 安全 教育 の 指 導 を す る。 幼 児 の 情 緒 の 安 定 を 図 り、 保 育 活 動 ・ 健 康 教 育	自分や自分以外の人達の身体や心の事を理解し、大切さを知る	4	年齢や成長段階、生活や遊びの流れに合わせた題材や教材を研究し、活用する	3. 3 (B)	4	自分や自分以外の人も大切にすることを学び、自分なりに実行する	3. 2 (B)	3. 3 (B)	・絵本や教材を通して身体の事や友達への思いやりを学んだり興味を持ったりする機会を作れていると思う。命の安全教育を意識した活動や教材をより取り入れるようにしたい。 ・教師自身が幼児期の性教育について、学ぶ必要があると感じた。	
		3	絵本や教材を使って、日常生活で相手を思いやる行動について伝える		3	不快な行動を知り、乱暴な行動や言葉を控えようとする				
		2	行動等の境界線を教える		2	物事の善悪について知り、良い事をしようとする姿が見られる				
		1	プライベートゾーン、パーツを絵本等を通して学ぶ		1	自分の身体に興味を持つきっかけとなる				
	毎日を心身共に健康に過ごせるよう、自らより良い選択をする力を育てる	1	定期的に身体測定を行い、自分の体の成長に興味を持てるようにする	2. 7 (C)	1	たくさん食べて大きくなりたい気持ちが育ち、食育にも繋がる。数値で具体的に自分の成長を知る事が出来る	2. 4 (C)	2. 6 (C)		・家庭環境の違い、偏食や食、健康への関心等、個々に応じた声掛けや働きかけをしていると思う。手応えについても様々あるように思う。 ・クラス内において、給食時間や様々な活動時間に食育に繋がる話や声掛けが出来ていると思う。
		1	感染症予防を身につけ、健康な体を維持できるよう指導する		1	手洗いや手指の消毒をすることで、安全に集団生活を送る				
		1	季節ごとの生活習慣や約束事を身に付けられるよう指導する		1	熱中症対策や水分補給等、気温に応じて自分で対応できるようになる				
		1	内科検診・歯科検診を通して、健康や成長について指導する		1	自分の健康について興味を持ち、早寝早起き朝ごはん、歯磨き等を積極的に行う				

重点 目標	評価項目	評価指標及び評価結果						コメント 評価結果に関する説明・意見書	
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括評価
② 保護者の思いや願いを受け止め、適切な情報提供をする	保護者との情報共有 に努める	4	子どもの変化に気付き、様子を保護者と伝え合いながら見守りや援助が出来るようにする	3. 7 (C)	4	一人一人の姿を細かく観察し、適切な対応をする事で、より良い成長を促す事が出来る	3. 7 (C)	3. 7 (C)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には取組みが出来ていると考えるが、忙しい家庭の増加で職員の勤務中の連絡が難しいケースもある。教職員が同じ意識が持てるよう協議していきたい。 ・子どもの様子や変化をよく観察し、より良い方向へ向かって行けるよう職員全員で協力、連携が出来ていると思う。
		3	友達とのトラブルや怪我等は丁寧に誠意を持って説明し、今後の対応を含めた報告をする		3	トラブル後も不信感に繋がる事無く、園の教育に協力して頂ける			
		2	園だより等で、園の教育や保育内容について、定期的に情報提供をする		2	保育の視点、意図が伝わり、家庭で親子の話題や会話となり、コミュニケーションを深める事が出来る			
		1	園児・保護者と元気に挨拶を交わす		1	笑顔で目を合わせることで、気持ちを引き出すきっかけとなる			
	各家庭に応じた情報 提供や支援を行う	4	地域の子育て支援やサポート体制について学び、必要に応じて情報提供を行う	3. 4 (B)	4	家庭環境、特別な支援等の必要なサポートを提供する事で安定した子育ての手助けとなる	3. 5 (B)	3. 4 (B)	
		3	保護者からのご意見・ご要望があった場合は謙虚に話を聞き、園長や主任等へ連絡・報告・相談をする		3	迅速丁寧な対応をする事で信頼関係を築く事が出来る。園の改善に繋がる			
		2	家庭環境に合わせた連絡手段を行う		2	スムーズに情報共有する事ができる			
		1	積極的に保護者とコミュニケーションをはかる		1	話しやすい雰囲気が出来る			

重点 目標	評価項目	評価指標及び評価結果						コメント 評価結果に関する説明・意見書	
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括評価
③ う。 安全点検や教職員・幼児の安全対応力を高める指導を行う	安全対応力を高める	1	事件・事故に結びつく可能性がある情報は、全職員と保護者で共有する	3. 1 (B)	1	連絡アプリを活用し、不審者目撃や誘拐予告等の情報を職員と保護者に迅速に提供し、警戒する事が出来る	3. 2 (B)	3. 1 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・天候、気温等によって変化する園庭やグラウンドの土や遊具の特性を子ども達と一緒に経験から学び、自然や季節に興味を持ちながら安全に遊ぶ手段やルールを指導できている。 ・日常生活の中で、安全な遊び方について繰り返し話しが出来るので、今後も丁寧に指導したい。
		1	避難訓練を定期的に行い、園児と職員が適切な行動が出来るようにする		1	教師が真剣に取り組む姿を受け止め、大切な訓練という事を理解し、避難訓練に参加する			
		1	遊具説明を丁寧に行い、安全な遊び方を教える		1	友達と一緒にルールを確認し合ったり、安全に遊ぼうとする姿が見られる			
		1	日常生活の中で起こりうる事故を防止出来るよう、ルールやマナーを繰り返し指導する		1	箸を口に咥えたまま歩かない等、様々な場面でのルールを少しずつ意識するようになる			
	園内の安全点検について見直す	1	園庭、園外保育時で害虫など危険な物、場所を把握し、安全に遊べるようにする	2. 4 (C)	1	園外の公園や施設の下見に行く際、確認する物(所)が明確になり、より安全に活動する事が出来る	2. 5 (C)	2. 4 (C)	
		1	ヒヤリハットを通して、共通理解をし、迅速に対策・対応をする		1	安全に活動出来る様に、保育計画を立てる事が出来る			
		1	各学年で担当を決め、定期的に点検をし、記録に残す		1	日々の生活の中で職員全員で気を付ける事ができ、早い段階で園長に報告できる			
		1	災害時の危険な場所や安全な避難場所を子ども達と話し合い、活用する		1	友達同士や家庭でも話題になる事で、より安全意識が高まる			

○総合的な評価結果

評価	理由
3. 1 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の安全教育に取組み、子ども達の反応から年齢に合った指導法や教材を学ぶ事が出来た。一人一人の子どもが幸せに成長していけるよう教師の想いや願いが詰まった教材を作り、丁寧に教育する事が出来た。また、小学校で行っている生命の安全教育を学び、参考にさせて頂きながら子ども達に伝えた事を保護者にも発信し、情報を共有する事が出来た。今後、様々な家庭環境の子ども達にも寄り添った教育を目指したい。 ・コロナ禍による大きな生活の変化は戸惑いばかりであった。しかし、分散や縮小を試みた活動の中で今まで意識せず伝統として行っていた事は本当に必要か、子ども達の成長や気持ちに寄り添っているか等、一つ一つの行事や活動をじっくりと考え直す機会となった。幼稚園の教育方針をまずは職員がしっかりと理解し、保護者に情報を発信し協力して頂きながら、子ども達に必要な保育と遊びを提供できるようにしたい。

○今後取り組む重点的課題

課題	具体的な取り組み方法
① 幼児の年齢や発達に応じた関わり方をする	・一人一人の発達や個性を理解しながら、それぞれに合った目標を立て、支援(保育)を行う。
② 園内の環境を保育計画・実践に生かす	・幼児が主体的に関わりたくなるような季節の変化に応じた環境作りをする。 ・季節に応じた栽培や収穫体験、遊びを計画する。
③ 教職員がそれぞれ全体的立場を理解し、協力・協働できる体制にする	・年度初めに仕事分担を決めたり、園務の内容を共通理解したりする時間を設ける。 ・職員間でコミュニケーションを取りながら、仕事内容を報告し合い、主任や係のリーダーが中心となって仕事配分をする。

○学校関係者評価委員会の評価 委員会実施日 令和5年 3月 6日

園長先生の教職員、保護者、そして園児に対する温かい思いが上津役幼稚園の落ち着きや楽しい雰囲気醸し出しているように感じました。また、訪問する度に笑顔で挨拶していただく園児や職員の方々、子どもに寄り添った指導の実践にも感心させられました。

アプリの活用やプライベートゾーンの学習等の社会情勢に応じた取り組みや保護者アンケート・関係者評価によるPDCAの実践にも高い評価ができます。次年度以降も地域や関係機関との連携を含めて、上津役幼稚園の実践の継続を望みます。